

2-2-3 公共交通（地下鉄・JR・バス・路面電車・タクシー）

(1) 公共交通の利用人員の推移

◇ バスの利用者数が大幅に減少。

- 地下鉄の利用人員は横ばいで推移しています。
- JRは高架化・中間駅の設置・複線化に伴い利用者（乗車人員）を伸ばし、近年も増加傾向にあります。
- 路線バス、タクシー、路面電車は、利用者数が減少傾向です。

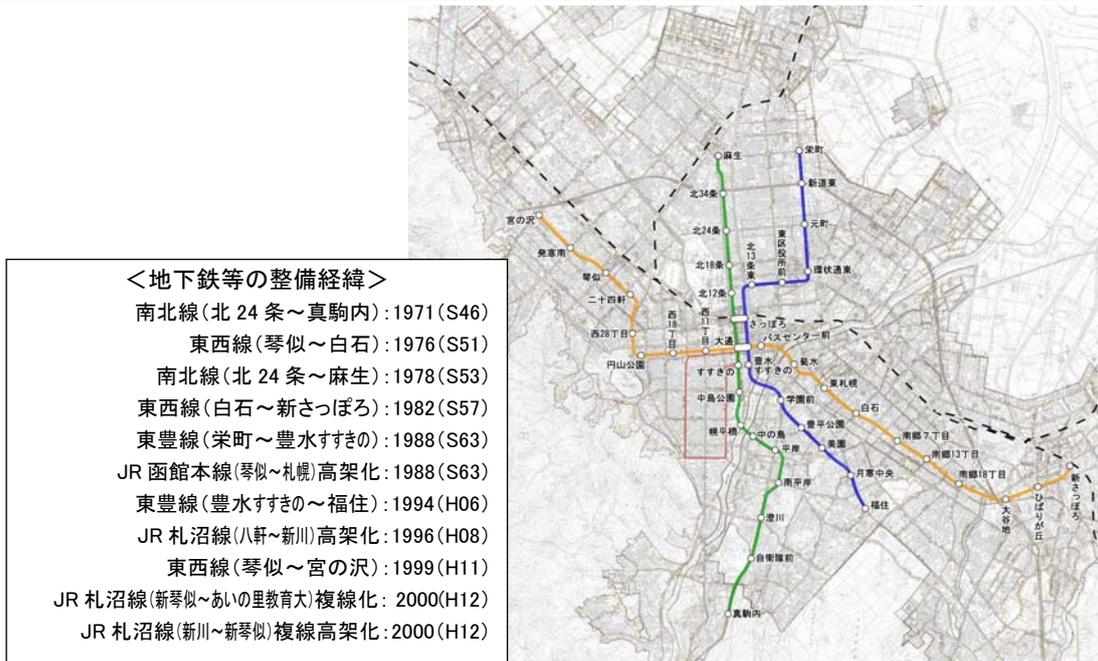
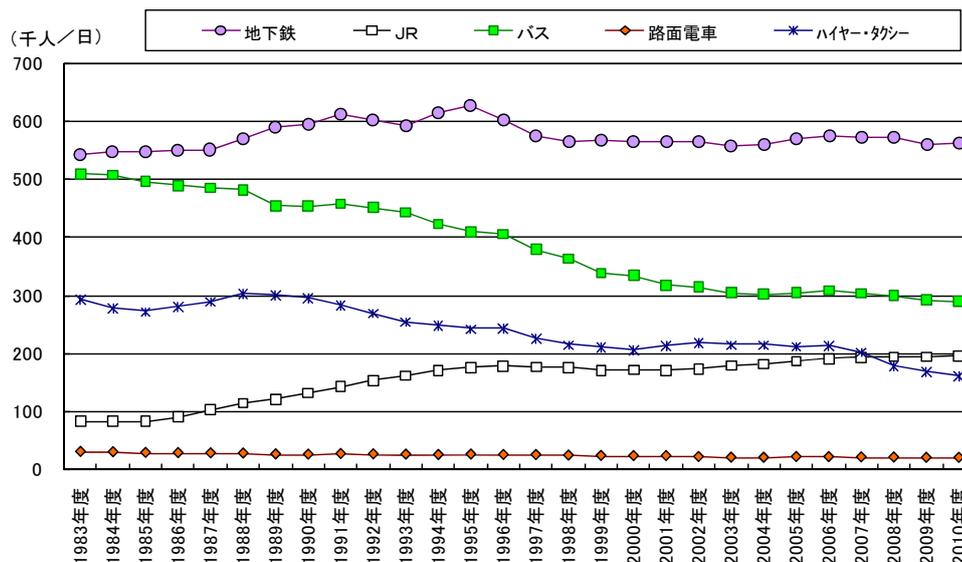


図 2-53 札幌市内の地下鉄・JR網

札幌市内 機関別日平均乗車人員



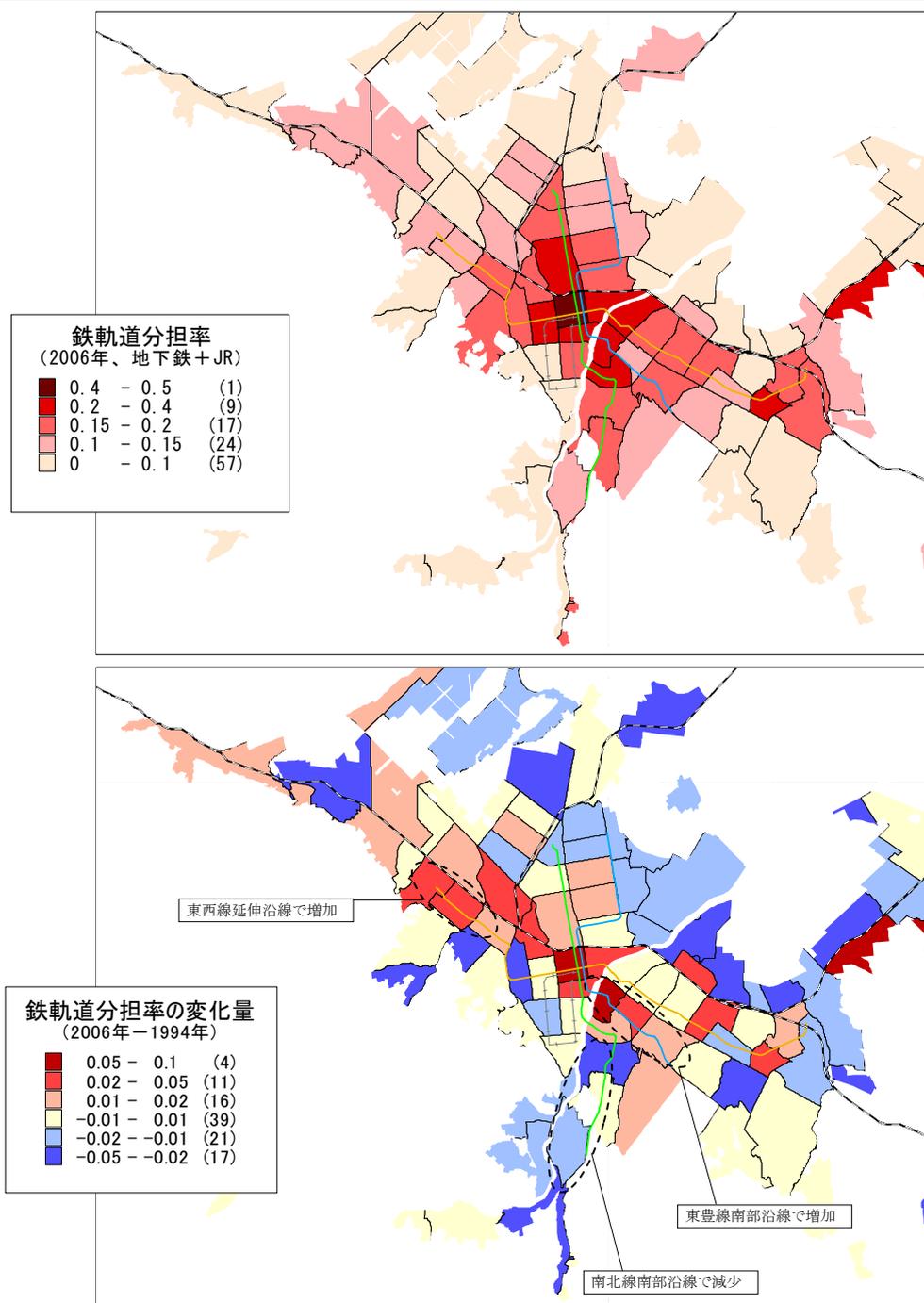
資料：札幌市統計資料

図 2-54 公共交通の利用者推移

(2) 鉄軌道利用の地域別傾向

◇ 都心の鉄軌道分担率⁷は高い。沿線によっては鉄軌道利用率が減少。

- ・ 駅沿線での鉄軌道分担率が高く、特に都心では分担率が高いです。
- ・ 都心や、東豊線の南部区間（「豊水すすきの－福住」1994年整備）や東西線西区間（「琴似－宮の沢」1999年整備）で鉄軌道の利用率が上昇していますが、郊外部や南北線の南部区間など高齢化率が高い地区では利用率の減少が見られます。



資料：道央都市圏パーソントリップ調査

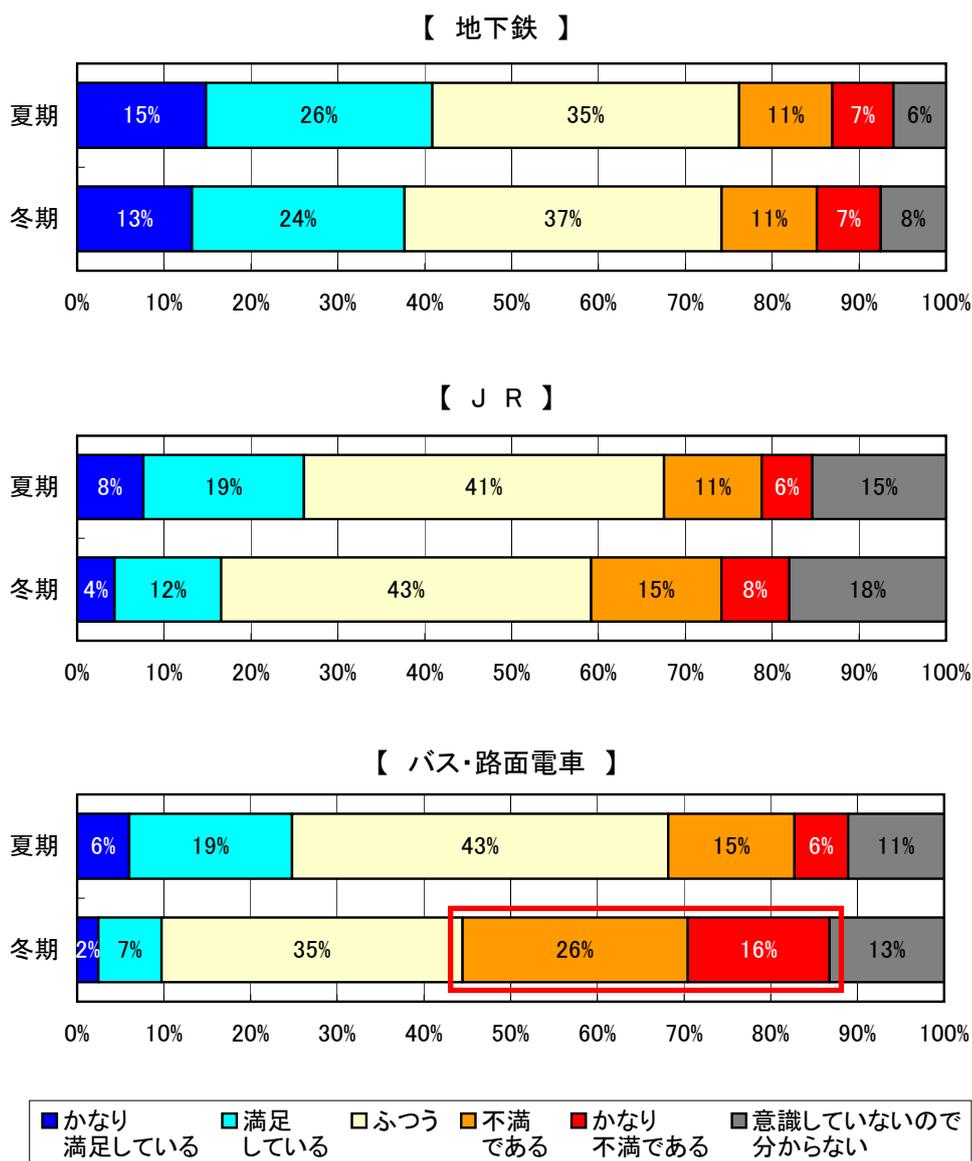
図 2-55 鉄軌道の分担率（利用率）とその変化

⁷ある交通手段のトリップ数が、全交通手段のトリップ数に占める割合のこと。

(3) 公共交通の満足度

◇ 季節によらず地下鉄の満足度は高い。冬期のバスの満足度は低い。

- ・ 「地下鉄」、「J R」、「バス・路面電車」を比較すると、季節によらず地下鉄の満足度は高い傾向にあります。
- ・ 「バス・路面電車」の満足度は、夏期と冬期で大きく異なり、冬期は 4 割以上が「不満である」または「かなり不満である」と回答しています。



資料：道央都市圏パーソントリップ調査（2006 年、ライフスタイル調査）

図 2-56 居住地域の交通サービス満足度（地下鉄、J R、バス・路面電車）

(4) バス

◇ バス利用者数は減少の一途をたどる。バス事業の経営状況は厳しい。

- ・ 市営バス事業の民間委譲（H15～16）が行われ、市内路線バスは全て民営となりました。
- ・ 市街地のほとんどを鉄軌道とバスがカバーしています。バス走行キロは、ほぼ横ばいのなか乗車人員は減少の一途をたどっており、バス事業の経営状況は厳しくなっています。
- ・ 道路運送法の改正（H14）により路線撤退に対する規制が解除され、認可制から届出制となりました。
- ・ 札幌市では、新たなバス路線維持補助制度を導入（H21）し、生活路線の確保に取り組んでいます。

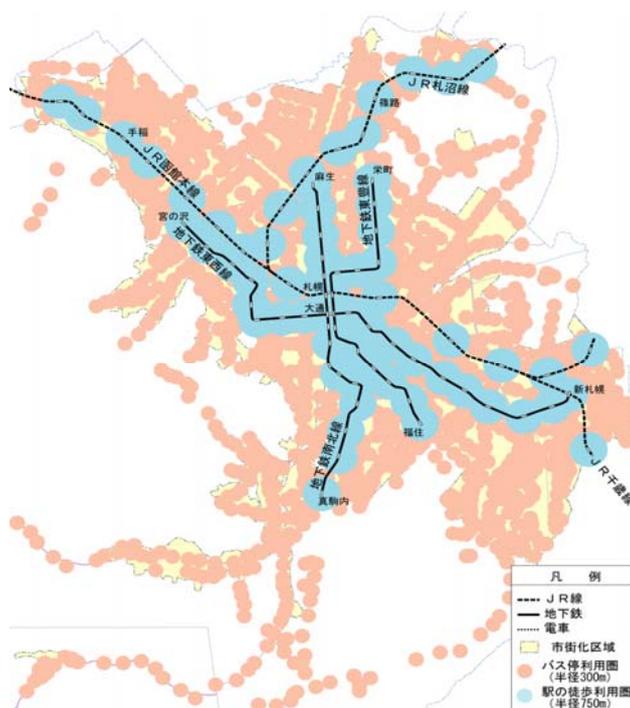


図 2-57 市内バス鉄道カバー圏

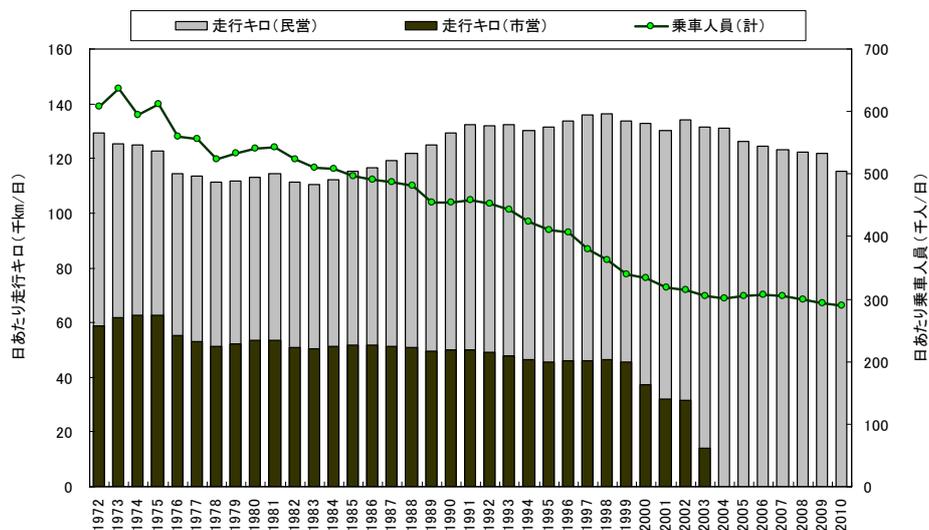


図 2-58 市内バスの走行キロと乗車人員の推移 資料：札幌市統計資料

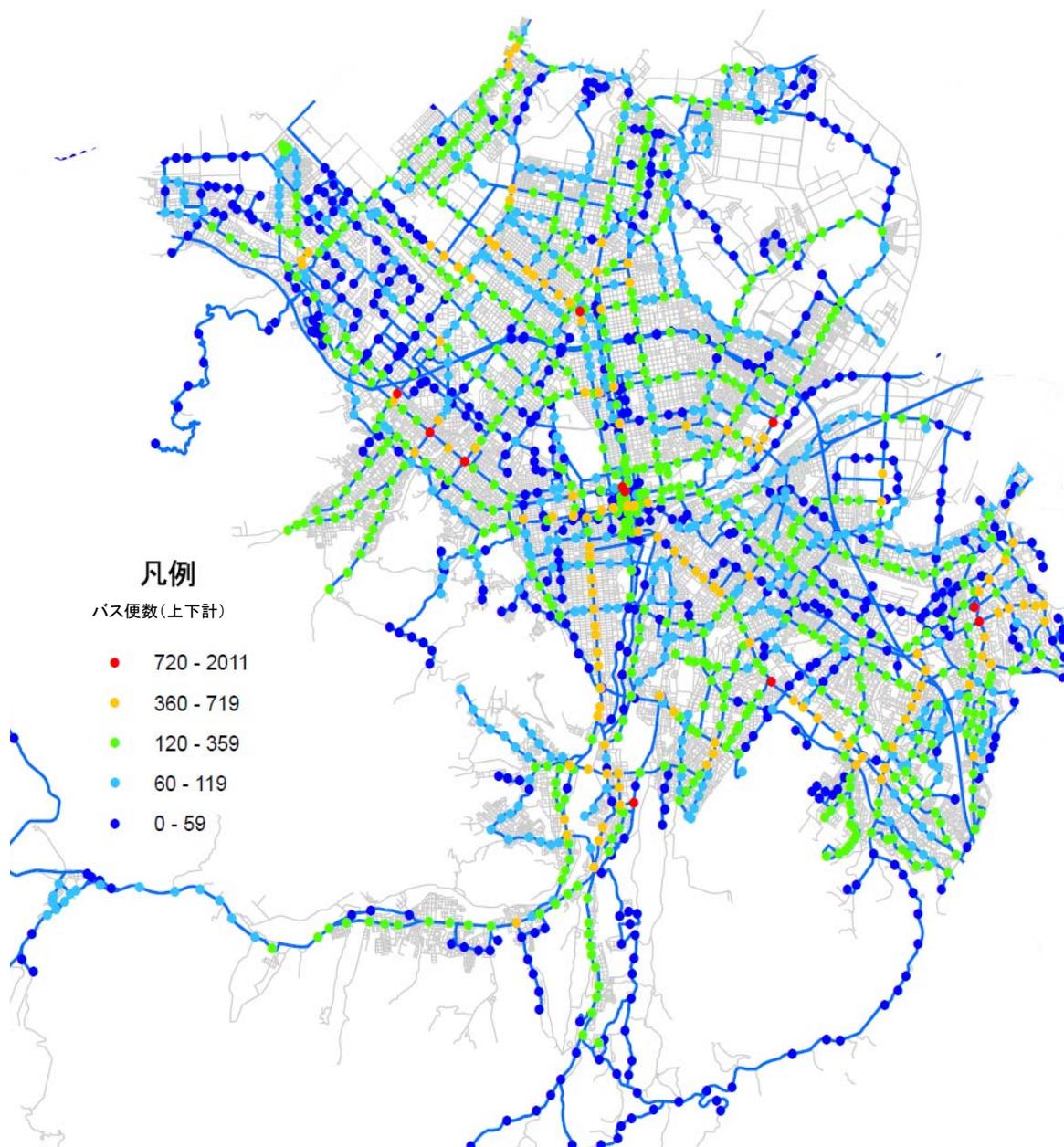
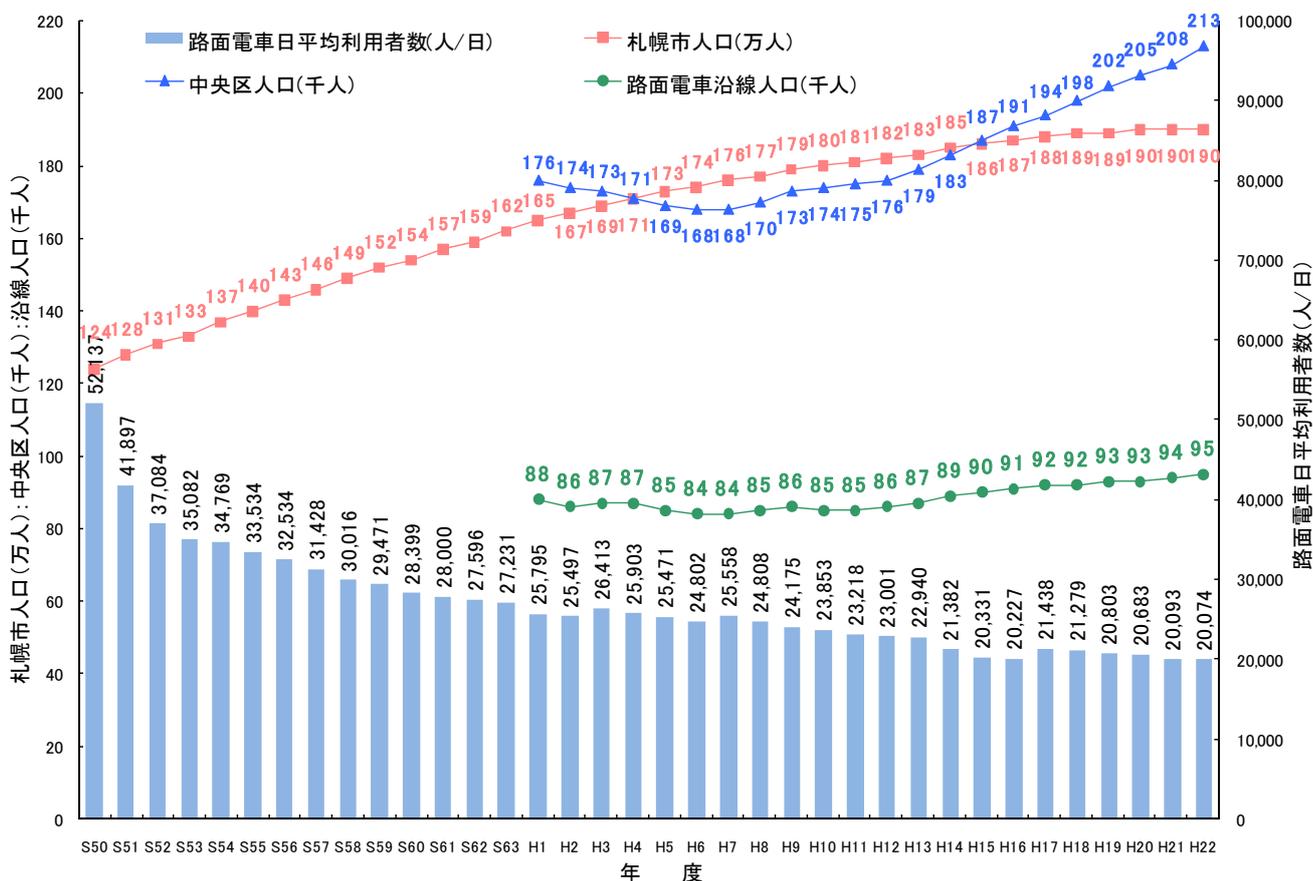


図 2-59 市内バス路線・停留所（便数別）

(5) 路面電車の状況

◇利用者の減少は続くものの、地域に必要な交通機関となっており、今後のまちづくりへの活用が期待されている。

- ・ 路面電車は近年、利用者数が減少傾向にあるものの、1日平均2万人が利用し、特に朝ラッシュ時には一部区間（西4丁目－西線16条間）で3分間隔の折り返し運行を行うなど、交通需要が大きく、地域に必要な交通機関となっています。
- ・ 沿線には藻岩山やコンサートホール Kitara 等の集客施設が点在し、観光客等にとっても重要な足となっています。
- ・ 高齢者をはじめとした日中の利用も多いものの、施設や車両の老朽化が進んでおり、バリアフリーに対応していない状況となっています。
- ・ 現在、路面電車は国内外で人や環境に優しい特性等が見直され、交通機関としてだけでなく、将来を見据えたまちづくりへの活用が期待されています。



資料：札幌市路面電車活用方針（2010年（平成22年））、札幌市統計資料

図 2-60 利用人員と沿線人口の推移



札幌市の車両（現行）

図 2-61 停留場間における輸送人員
(2009年1月平日)

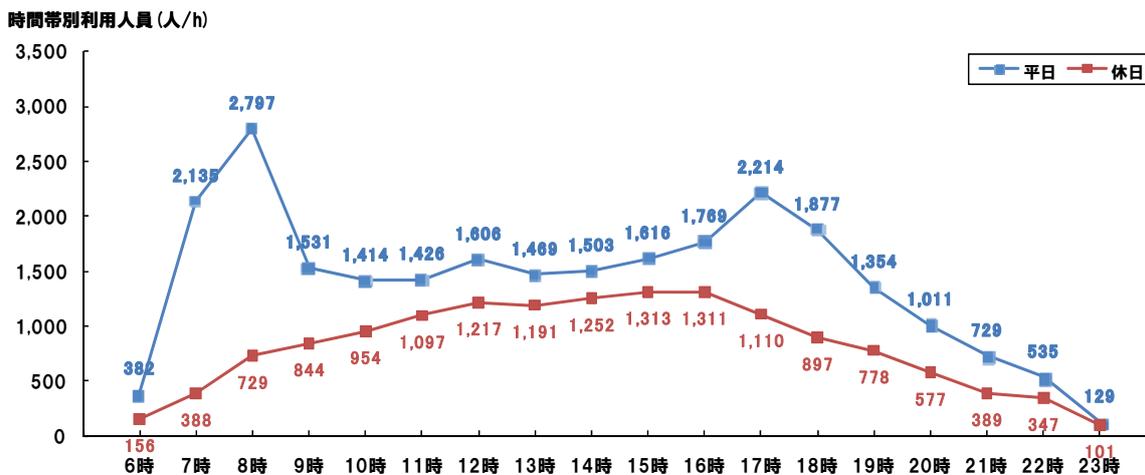


図 2-62 1日の時間帯別利用者数の推移（2009年1月）



フランス・ストラスブール

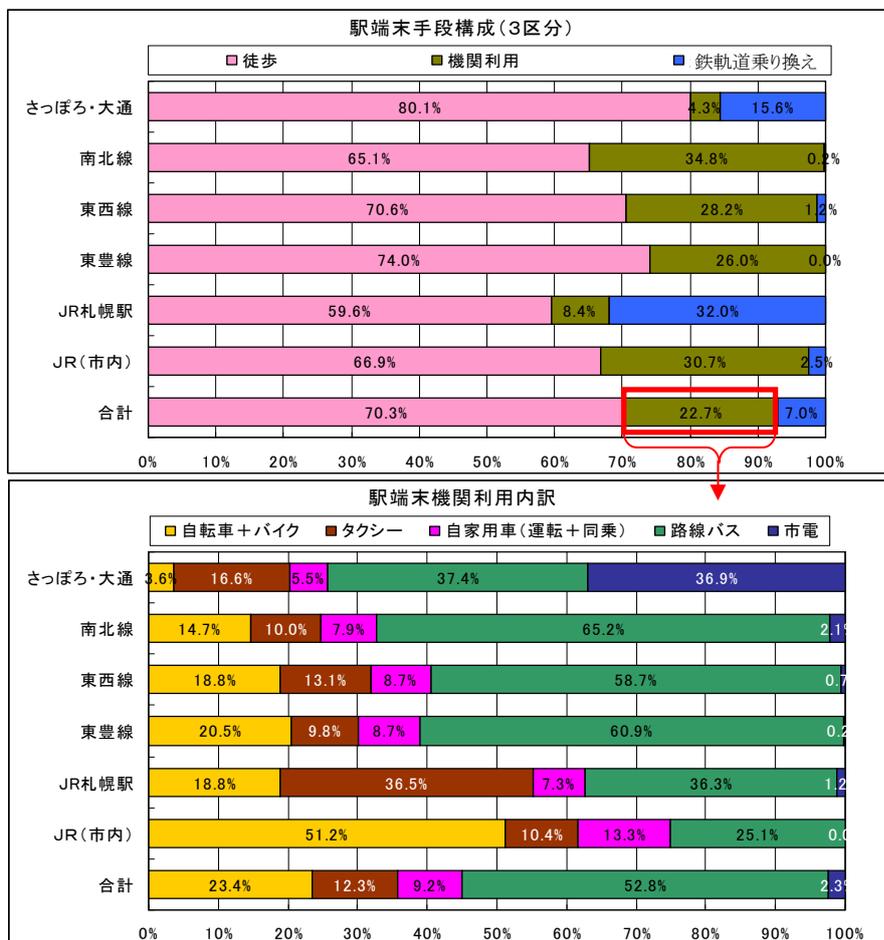


富山市の低床車両

(6) 乗り継ぎ

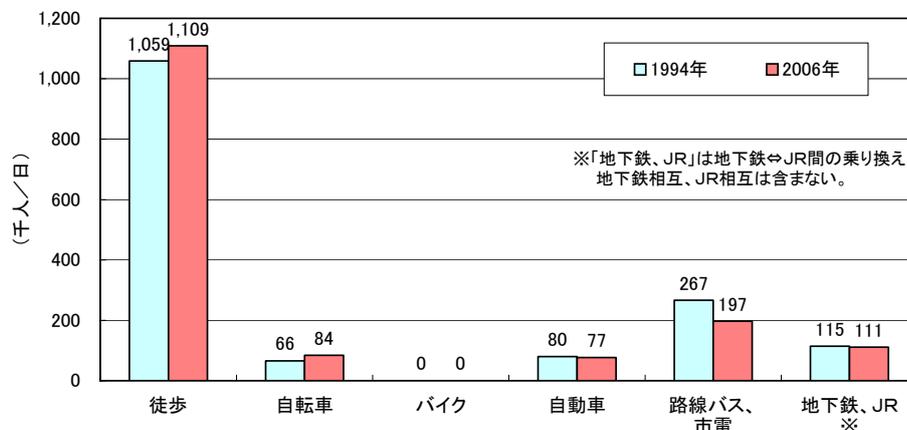
◇ 駅でのバス乗り継ぎが減少し、自転車や徒歩が増加する傾向。

- ・ 駅端末手段の 7 割は徒歩です。バスや自転車からの乗り継ぎは 2 割あまりです。
- ・ 地下鉄駅では J R 駅に比べて、バス乗り継ぎ利用割合が高いです。
- ・ 駅端末手段別ではバスが減少して、自転車や徒歩が増加する傾向となっています。



資料：道央都市圏パーソントリップ調査（2006年）

図 2-63 市内鉄軌道の路線別端末手段構成



資料：道央都市圏パーソントリップ調査

図 2-64 端末手段別駅乗降者数（札幌市内駅集計）の推移